

イリボー錠 2.5 μg
イリボー錠 5 μg

【この薬は？】

販売名	イリボー錠 2.5 μg Iribow Tablets 2.5 μg	イリボー錠 5 μg Iribow Tablets 5 μg
一般名	ラモセトロン塩酸塩 Ramosetron Hydrochloride	
含有量 (1錠中)	2.5 μg	5 μg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、下痢型過敏性腸症候群治療剤と呼ばれる薬です。
- ・この薬は、下痢症状を伴う腹痛や腹部不快感を改善したり、便秘状態を改善する働きがあります。
- ・次の病気の人に処方されます。

下痢型過敏性腸症候群

- ・この薬は、食事や生活に気をつけても症状が改善しない場合に使います。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にイリボー錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・過去に腹部の手術をした人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬を使う前に、慢性便秘症または便秘型過敏性腸症候群でないことが確認されます。
- この薬を使う前に、似たような症状があらわれる病気（大腸がん、炎症性腸疾患、感染性腸炎など）が疑われる場合には専門的な検査が行われることがあります。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

〔男性の場合〕

通常、成人男性の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	イリボー錠 2.5 μ g	イリボー錠 5 μ g
1回量	2錠	1錠
飲む回数	1日1回	

- ・1回の最高使用量は10 μ g（イリボー錠 2.5 μ g 4錠またはイリボー錠 5 μ g 2錠）です。
- ・1ヵ月程度症状の推移を確認した後に、飲む量が調整されることがあります。

〔女性の場合〕

通常、成人女性の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	イリボー錠 2.5 μ g
1回量	1錠
飲む回数	1日1回

- ・1回の最高使用量は5 μ g（イリボー錠 2.5 μ g 2錠またはイリボー錠 5 μ g 1錠）です。
- ・1ヵ月程度症状の推移を確認した後に、飲む量が調整されることがあります。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の決められた時間に次の薬を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・虚血性大腸炎（腹痛、血便）や重篤な便秘があらわれることがあります。また、過去に腹部手術をしたことがある人ではイレウス（便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐（おうと）、お腹が張る、腹痛）などもあらわれることがあります。これらの場合には、医師または薬剤師に連絡してください。特に、女性では男性に比べて便秘および硬便があらわれやすいため注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？



特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
虚血性大腸炎 きよけつせいだいちようえん	急激な腹痛、血が混ざった下痢
重篤な便秘 じゅうとくなべんぴ	便が出ない、便秘、硬便

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ
胸部	動悸、息苦しい
腹部	急激な腹痛
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹
便	血が混ざった下痢、便が出ない、便秘、硬便

【この薬の形は？】

販売名	イリボー錠 2.5 μ g	イリボー錠 5 μ g
形状	フィルムコーティング錠 	フィルムコーティング錠 
直径	5.6mm	6.6mm
厚さ	3.0mm	3.0mm
重さ	0.078g	0.104g
色	淡黄色	淡黄色
PTPシート		

【この薬に含まれているのは？】

販売名	イリボー錠 2.5 μ g	イリボー錠 5 μ g
有効成分	ラモセトロン塩酸塩	
添加剤	結晶セルロース、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、無水クエン酸、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール、酸化チタン、タルク、黄色三二酸化鉄	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：アステラス製薬株式会社

(<https://www.astellas.com/jp/>)

くすり相談センター

電話：0120-865-093

受付時間：9時～17時30分（土、日、祝日、会社休日を除く）